

## 地方公共団体との意見交換会

食品安全委員会は、地方公共団体と共催で、食品の安全に関する各種の意見交換会を開催しています。2019年度は、栄養教諭や家庭科教諭等の学校教育関係者を重点対象とし、「食品安全の基本的な考え方」や「食中毒予防」などをテーマに全国12カ所で開催しました。

プログラムは、①主催者からの話題提供と、②参加者によるグループワークを中心に構成されています。グループワークでは、参加者が少人数のグループに分かれて①の話題について議論した後、その内容をポスター等にまとめて発表します。発表後には、参加者全員による意見交換を行っています。

終了後の参加者アンケートでは、「食品の安全についての理解が深まった」「意見交換を通じて色々な視点からの考えがあることを知り、勉強になった」といった内容の感想が聞かれ、好評のうちに終了しました。



意見交換会

[http://www.fsc.go.jp/koukan/dantai\\_jisseki.html](http://www.fsc.go.jp/koukan/dantai_jisseki.html)

## 食品健康影響評価事業等功労者大臣表彰

食品安全委員会は、食品の安全性に関し、食品健康影響評価事業等の推進に特に顕著な貢献をした方の功績を讃えるため、食品健康影響評価事業等功労者大臣表彰を実施し

ています。2019年度は、今井田克己氏（香川大学理事・副学長(教育担当)）、岡部信彦氏（川崎市健康安全研究所所長）、山添康氏（東北大学名誉教授）が選ばれました。

## 衛藤大臣食品安全委員会御挨拶

2019年10月29日、衛藤内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全担当）が第762回食品安全委員会に出席しました。挨拶において大臣は、「食品安全委員会が、リスク評価機関として引き続きその機能をいかに発揮し、厚生労働省、農林水産省、消費者庁等と連携しつつ、食品の安全性を更に確保していくことを強く期待している」、「『食品の安全』は、私たち一人一人の命に直結する国政の重要なテーマの一つであり、食品の安全性の確保を通じて、国民の皆様が安心して暮らしていただけるよう邁進する」と述べました。

